

2006年4月14日

各 位

会社名 住友商事株式会社
代表者名 取締役社長 岡 素之
(コード番号 8053 東証第1部)
問合せ先 広報部長 井場 満
(TEL : 03-5166-3089)

当社子会社（住商情報システム株式会社）の業績予想の修正に関するお知らせ

当社の子会社である住商情報システム株式会社は、2005年10月27日に公表しました2006年3月期（2005年4月1日～2006年3月31日）の業績予想につき、添付資料の通り修正しましたので、お知らせ致します。

（添付）

・住商情報システム株式会社の開示資料

以 上



平成 18 年 4 月 14 日

各 位

会 社 名 住商情報システム株式会社
代表者名 取締役社長 阿部 康行
(コード番号 9719 東証第1部)
問合せ先 財務経理グループ長 小島 収
(TEL. 03 - 5166 - 2500)

特別利益及び特別損失の発生並びに業績予想の修正に関するお知らせ

このたび、下記の通り特別利益及び特別損失が発生する見込みとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 17 年 10 月 27 日の中間決算発表時に公表いたしました平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)の業績予想を修正いたします。

記

1. 特別利益及び特別損失の発生とその内容

当社では、昨年 8 月の住商エレクトロニクス株式会社との合併以降様々な経営改革を進めてまいりました。本年 2 月には事務所を統合するとともに、4 月からはカンパニー制を廃止して、合併両社を完全に融合する形での新しい組織体制に移行し、名実ともに新生住商情報システムとしてのスタートをきりました。

一方、平成 18 年 3 月期下半期より事業フォーカスを定め、今後注力する事業分野をターゲットビジネスとして経営資源の再配分や一連の改革による事業資産の見直し等を行い、今後の企業成長に向けた様々な施策を実施いたしました。その結果、当期において下記の通り一時的な特別利益及び特別損失が発生する見込みであります。

(1) 特別利益

投資有価証券売却益	1,260 百万円
その他	6 百万円
計	1,267 百万円

(2) 特別損失

事務所移転費用	140 百万円
固定資産除・売却損	899 百万円

固定資産一時償却額	1,271 百万円
早期特別退職金	640 百万円
その他	170 百万円
計	3,122 百万円

(注)上記数値は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業績予想の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	118,000	6,800	3,800
今回修正予想(B)	120,000	6,700	2,670
増減額(B - A)	2,000	100	1,130
増減率(%)	1.7	1.5	29.7
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期)	70,586	5,098	3,100

(2) 個別業績

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	113,000	6,000	3,500
今回修正予想(B)	113,600	5,960	2,540
増減額(B - A)	600	40	960
増減率(%)	0.5	0.7	27.4
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期)	65,818	5,316	3,176

(3) 修正の理由

当期純利益につきましては、前述の個別業績における特別利益及び特別損失の計上により、当期純利益にかかわる連結業績予想を 2,670 百万円、個別業績予想を 2,540 百万円と見込んでおります。なお、売上高及び経常利益については、若干の増減は見込まれるものの前回公表の予想数値に近い数値となる見込みであります。

なお、平成 18 年 3 月期の業績予想は上記の通りであります。現在決算の取りまとめ作業中であり、実際の業績は上記予想数値とは異なることがあります。

3. その他

平成 18 年 3 月期の期末配当につきましては、当初公表の通り一株あたり 13 円とする方針であります。

以上